

小中一貫教育目標 「自ら学び、考え、自立した行動ができる『きさ』の子どもの育成」

目指す子ども像 「自学・礼節・一生懸命」

研究主題 「自学力の育成」

重点項目			自学力				礼節			
			～算数・数学の図形領域指導を中心に～				家庭学習習慣	生活3か条		
			図形領域の目標	課題解決型の授業づくり	ノート指導					
			必要な事柄を選択し、要求された内容を簡潔かつ論理的に表現する	①課題提示の工夫 ②解決方法を見つけさせる工夫 ③解決させる指導工夫 ④まとめさせる指導工夫 ⑤次時の予告の工夫	①ノートスタイルの確立 ②「考えを書く」指導工夫	①家庭学習時間 ②復習と予習の指導工夫 ③自学への指導工夫	はきものそろえ	返事	あいさつ	
中学校	後期	3年	図形の性質や計量について考察し、性質や定理を使い論理的に表現する	①課題を理解し、何を学ぶのか、どんな力がつくのかイメージできる ②既習事項の比較・類推や学習内容に応じて解決方法を見いだせる ③話し合いや既習事項を使いながら課題解決の活動ができる ④自分の考えを述べるなど、他へ理解させることができる（一般化） ⑤次時に向けた取組ができる	①問いに対する解答、課題に対するまとめを論理的に整理している ②必要な事柄を選択し、要求された内容を書いている	①90分以上の家庭学習 ②既習事項の復習と次時の予習に計画的に取り組んでいる ③進路を考え5教科の反復練習や発展問題練習を計画的に行う。疑問点を調べて解決しようとしている。	いつでもどこでもきれいにそろえる	時と場に応じた返事	時と場に応じた挨拶	
		2年	図形の性質を理解し、証明等の方法により一般的に成り立つことを論理的に表現する							
	1年	図形に対する直感的な見方、考え方を深め、表現できる								
中学校	中期	6年	図形の性質を理解し、説明に必要な事柄を用いて、自分の考えを表現できる	①課題解決のイメージが持てる ②既習内容を使って解決方法が見いだせる ③解決がうまくいった原因やうまくいかなかった原因を明確にできる ④自分なりに課題解決のまとめができる ⑤次時の範囲を調べる	①学習内容が一目でわかるように整理している ②根拠に必要な事柄を用いて、自分の考えを書いている	①60分以上の家庭学習 ②教科書やドリルを使って習ったことの復習を毎日行う ③発展的な問題に取り組むことができる。	進んできれいにそろえる	相手の目を見て返事	自から進んだ挨拶	
		5年								
小学校	前期	4年	図形の構成要素及び位置関係に着目して、立体図形について説明できる	①何を学ぶのか理解し意欲的に発言する ②前時に学習したことが思い出せる ③課題解決してわかったことを述べる ④まとめから解決できたことやそうでないことがわかる ⑤次時の準備ができる	①自分の考えた順序がわかるように書いている ②友だちの考えと比較して自分の考えを書いている	①30～40分の家庭学習 ②音読やドリル練習（国語、算数）日記等を毎日行う。 ③関心があることを調べることができる。	すすんでそろえる	気持ちの良い返事	気持ちのよい挨拶	
		3年								
	初期	2年	図形を構成する要素に着目して、図形の特徴を説明できる	①単元の課題や本時の課題を知る ②課題の解決方法について知る ③課題が解決したあとの感想が持てる ④まとめたことについての感想が持てる ⑤次時を楽しみにする	①わかりやすく、ていねいに書いている・正しい姿勢や鉛筆の持ち方で書く ②図や絵を使って、考えたことを書いている	①20～30分の家庭学習 ②学校の宿題を確かめ日記等必ず行う ③明日の学習準備ができる。	そろえておく	元気のよい返事	元気のよい挨拶	
1年										

